

キャラクター名  
イルゼ＝ローディ

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー		ワークス	レネゲイドビーイングC	カヴァー	放浪者
	サラマンダー					
オプション			年齢			性別
覚醒	渴望	衝動	恐怖		初期侵食率	39%
出自	転生体		経験	秘密	邂逅	恩人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	4	0	0			4	行動値	5
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	5
精神	2	1	0			3	戦闘移動	10
社会	2	0	0			2	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ：噂好きの友人	
コネ：情報屋	

合計装甲： 0    合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
『永遠の炎』	P 慕情	N 嫌気		
ミラ＝ハルトマン	P 傾倒	N 脅威		
西路緋那	P 好奇心	N 不信任		
長月雅	P	N		
霧谷ルイ	P	N		
ジンオウガ	P	N		
クルペッコ	P	N		

最大財産P: 4    残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	C値-Lv(下限7)							
オリジン：レジェンド	1	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	シーン中【精神】判定達成値+[Lv*2]							
ヒューマンズネイバー	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	衝動判定ダイス+Lv個、侵食基本値+5							
結合粉碎	5	4	メジャー	-	-	対決	-	
効果:	ダイス+Lv個、装甲無視							
焦熱の弾丸	1	1	メジャー	視界	-	対決	-	
効果:	攻撃力+[Lv+2]RC攻撃							
プラズマカノン	6	4	メジャー	視界	単体	対決	100↑	
効果:	攻撃力+[Lv*5]RC攻撃							
クロスバースト	5	4	メジャー	-	-	対決	80↑	
効果:	攻撃力+[Lv*4]、ダイス-2個							
エターナルブレイズ	5	4	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果:	攻撃力+[Lv*4]【行動値】-5							
熱感知知覚	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	熱を視覚として知覚する。感情や体調も読み取れる。							
不燃体	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	通常の炎や寒さからダメージを受けない							
炎の理	★	-	メジャー	至近	-	自動	-	
効果:	炎を作り出すことができる							
効果:								
効果:								
効果:								

「私の名前はイルゼ。イルゼ＝ローディ。…初対面のこういう時は、握手をすればいいのかしら」

「この館だって、かつてはもっと煌びやかだったの。何故私がそれを知っているかわからないけど。今はこんな風でもここは私の原点、私の家よ」

【プロフィール】

街の外れの山奥にひっそりと佇む煤けた廃墟の洋館。かつて火事に見舞われたその洋館には炎にまかれて死んだ少女の霊が出るという怪談が人々の間で広まっていた。その怪談は最初は何ということはないただの作り話であり、洋館に幽霊が出るわけもなかったのだが、その作り話は次第に本物の怪談として広まっていき、それを“オリジン”として一体のレネゲイドビーイングが誕生することとなった。

その姿はかつてこの洋館に住んでいた少女と全く同一と言えるもので、そのレネゲイドビーイング自身も洋館に残された写真や書物から情報を得て、少女の名前であるイルゼ＝ローディと自分を定義して生きることにした。

怪談の原点が火事であることから、イルゼはサラマンダーのシンドロームを持つ者の中でも特に炎を操ることに長けている。それ故に彼女の体温は通常の人間と比べて高く、周りには常に小さな火の粉が舞っている。

普段は街の中を宛てもなくフラフラと歩いているだけの彼女だが、現代日本においてその服装は外を歩くにはやや異質であり、また極稀に体に纏う火の粉による路地裏でのボヤ騒ぎが発生したりもするため、UGNの中では一部の間で存在が認知されており警戒されている。ちなみに、基本的に彼女は周りの目をあまり気にしておらず、ボヤ騒ぎについても故意に行っているわけではなく彼女自身も誰かに言われるまでは原因が自分であると気づいていなかったりしており、悪意はないためUGNでは要警戒人物ではあるが危険人物ではない、といった扱いである。

【性格】